

集合知の成功事例としての株価変動についての調査

PM コース 矢吹研究室 1242109 三宅琢己

1 研究の背景

集合知というものに興味があったので、この研究を行うことにした。
本を読んでいた時、たまたま書いてあったことがあった。
ある事故が起きたとき、原因もわかっていないのにとある株式会社の株価が下がり、
その数か月後にその株価の下がった株式会社が原因でその事故が起きたと公開された。
これを見た時、偶然起きたのかそれとも株式市場は賢く、
先にわかっていたためその株を大勢が売って株価が下がったのかと思った。
これは集合知の成功例であるのかと思った。
株にも興味があり、集合知にも興味があったので
この研究テーマにすることにした。

2 研究の目的

事故が起きたときに、株式市場というものは賢く、
集合知によって事故原因を誰よりも早く察知しているのか、
それともたまたまその企業が別の要因で株価が下がっただけで
偶然の出来事であったのかということを
複数の事故と、その原因企業の株価を調べ、
どちらであったのかを調査する。

3 プロジェクトマネジメントとの関連

集合知というのはナレッジマネジメントの分野ではもともとの意味は複数人の智恵の集合と言う意味である。
開発や課題解決に取り組む時、天才的な超優秀な一人より、それなりに優秀な何人かの集合が、
複数の視点を上手に使うって取り組む方が高い成果を生むことができる場合もある。
ということから何かプロジェクトを行うときは集合知を使えば高い成果をあげられる。
このように関連している。

4 研究の方法

事故を調べる。

事故の条件

複数の企業がかかわっている

- ・すぐに原因企業が見つからず、あとから判明する
- ・原因の企業が株式会社である

この条件に当てはまる事故を

インターネットで検索をかけて調べる。

そしてその原因であった株式会社の株価が事故直後に下がっているものや、
その事故原因の企業と関連している企業の株価などのトレンドを時系列分析をして、
原因企業のトレンドが他の企業と比べてどのような変化があるのか。
さらに、その原因企業の株価のトレンドが事故前と事故後にどう変化しているのかを時系列分析をして調査する。

4.0.1 参考文献

- Wikipedia[1]
- ヤフーファイナンス [2]

5 現在の進捗状況

事故の条件に当てはまる事故は、Wikipedia で事故を調べて一つ一つ見ていた結果、事故の条件と当てはまるものがなかなか出てこなく、4 つしか出てこなかった。

その 4 の事故

- ・チャレンジャー号事故
- ・東京航空交通管制システム障害
- ・日本航空 123 便墜落事故
- ・トルコ航空 DC-10 パリ墜落事故

その 4 つの事故の原因企業の株価をヤフーファイナンスや google で調べていったところ、原因企業の株価が出てきたのは 4 社中 3 社。

それぞれ原因企業の株価の日足は出てきたのだが分足が出てこなく、事故直後の株価を出すことができていない。

株価の下がった企業は 3 社のうち 2 社。

現状、データが少ないのと、各事故の原因企業の株価を時系列分析にかけることでもできておらず、さらに各事故の関連企業も調べられていない。

それにより、今は結果ははっきりと言えない状況である。

6 今後の計画

事故が 4 つあるので、各事故の日時の株価の変動を見ていき、株価の下がっている企業を見ていきその事故と関連性のある企業が調べていく。

そして、それぞれ事故原因企業と関連している企業の時系列分析を行い、

トレンドが事故原因企業と関連している企業とどのように変化しているのかを調査し、

原因企業の株価の動きが他の企業と異なっていて、トレンドが事故前と事故後で変化をしたのならば、株式市場は原因判明前にわかっていたと判断する。

参考文献

[1] Wikipedia. <http://ja.wikipedia.org/wiki/>. Accessed: 2014-12-03.

[2] Yahoo! ファイナンス. <http://finance.yahoo.co.jp/>. Accessed: 2014-12-03.